

Title	後藤昭雄教授略歴・編著書論文目録
Author(s)	
Citation	語文, 84-85, p. 149-153
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/69064
rights	
Note	

Osaka University Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

Osaka University

後藤昭雄教授略歴

昭和十八年三月十五日

熊本県に生まれる。

〔学歴〕

昭和四十年三月

九州大学文学部卒業。

昭和四十二年三月

九州大学大学院文学研究科修士課程修了。

昭和四十五年三月

九州大学大学院文学研究科博士課程単位取得退学。

昭和五十七年二月

文学博士の学位を九州大学より授与される。

〔職歴〕

昭和四十五年四月

鹿児島県立短期大学講師。

昭和四十六年四月

鹿児島県立短期大学助教授。

昭和四十八年四月

静岡大学教育学部助教授。

昭和五十八年四月

大阪大学教養部助教授。

平成二年十二月

大阪大学教養部教授。

平成六年四月

大阪大学文学部教授。

平成十一年四月

大阪大学大学院文学研究科教授。

平成十八年三月

大阪大学大学院停年退職。

非常勤講師歴

大阪女子大学 大谷大学 北九州大学 岐阜大学 九州大学 京都大学 京都女子大学 熊本大学 同志社女子大学 東北
大学 徳島大学 名古屋大学 奈良女子大学 福岡女子大学

所属学会・役職等

和漢比較文学会（常任理事） 万葉学会 中古文学会（委員） 和歌文学会 仏教文学会 説話文学会

後藤昭雄教授編著書論文目録

I 著書(編著書を含む)

古本系江談抄注解(共著)

平安朝漢文学論考

(同 補訂版)

類聚本系江談抄注解(共著)

平安朝漢文学総合索引(共編)

金剛寺藏注好撰(和泉書院影印叢書)

上野本注千字文注解(共著)

本朝文粹(共著、新日本古典文学大系)

平安朝漢文学文献の研究

仲文章注解(共著)

平安朝文人志

口遊注解(共著)

江談抄 中外抄 富家語(共著、新日本古典文学大系)

日本詩紀拾遺

天台仏教と平安朝文人(歴史文化ライブラリー)

孝子伝注解(共著)

II 分担執筆

日本文学全史二 中古(共同執筆)

勅撰三集の時代、僧団の文学、菅家三代とその周囲

中古日本文学史

漢詩文(前期)、漢詩文(後期)

武蔵野書院

桜楓社

勉誠出版

武蔵野書院

吉川弘文館

和泉書院

和泉書院

岩波書店

吉川弘文館

勉誠社

吉川弘文館

勉誠社

岩波書店

吉川弘文館

吉川弘文館

汲古書院

学燈社

有斐閣

一九七八年

一九八一年

二〇〇五年

一九八三年

一九八七年

一九八八年

一九八九年

一九九二年

一九九三年

一九九三年

一九九三年

一九九七年

二〇〇〇年

二〇〇二年

二〇〇二年

一九七八年

一九七九年

Ⅲ 論文

一九六七年

・桜島忠信落書について

一九六八年

・交野少将物語についての一試論

一九六九年

・一条朝詩壇と『本朝麗藻』

一九七〇年

・嵯峨天皇と弘仁期詩壇

一九七一年

・敦道親王小考―「属文の王卿」(一)

・平安朝漢文学における憂愁の文学の系列

・大江匡衡の詩文

一九七二年

・古今集歌人における詩人的要素

・学生^{生徒}の字について

・大江以言考

・「属文の王卿」―醍醐系皇親―

一九七三年

・漢文学史上の親王―仁明朝より村上朝にいたる―

・文人相軽―道真の周辺―

一九七四年

・白河院の詩遊―済時をめぐる属文の王卿たち―

一九七五年

・紀長谷雄「延喜以後詩序」私注(一)

『語文研究』二三号 九州大学国語国文学会

『語文研究』二五号 九州大学国語国文学会

『国語と国文学』四六巻八号 東京大学国語国文学会

『語文研究』二八号 九州大学国語国文学会

『国語国文薩摩路』一五号 鹿児島大学法文学部国文学研究室

『鹿児島県立短期大学紀要』二二号 九州大学国語国文学会

『鹿児島県立短期大学紀要』二二号

『国語国文薩摩路』一六号 鹿児島大学法文学部国文学研究室

『平安文学研究』四八輯 平安文学研究会

『中古文学』一〇号 中古文学会

『鹿児島県立短期大学紀要』二三号

『日本文学』二二巻九号 日本文学協会

『中古文学』一三号 中古文学会

- ・嵯峨王朝の文学―『文華秀麗集』の位置―
- ・大蔵善行七十賀詩宴について
- 一九七六年
 - ・紀長谷雄「延喜以後詩序」私注(二)
 - ・「文華秀麗集詩人小伝」拾遺
- 一九七七年
 - ・菅原道真の「近院山水障子詩」をめぐって
- 一九七八年
 - ・紀長谷雄の「山家秋歌」について
- 一九七九年
 - ・大江匡房の「暮年詩記」について
 - ・藤原佐世―菅原道真の周囲―
 - ・宮廷詩人と律令官人と―嵯峨朝文壇の基盤―
 - ・小野岑守小論
- 一九八〇年
 - ・嵯峨天皇―創造的空間の造立―
 - ・大江音人について―「在朝の通儒」―
- 一九八一年
 - ・菅原道真の詩と律令語
- ・勅撰三集と入唐僧の文学
- 一九八二年
 - ・菅原道真の詠竹詩について
 - ・承和への憧憬―文化史上の仁明朝の位置―
 - ・落書拾遺
- 一九八三年

- 『国文学』二〇巻七号 学燈社
- 『古代文化』二七巻七号 古代学協会
- 『静岡大学教育学部研究報告』二六号
- 『古代文化』二八巻一〇号 古代学協会
- 『日本文学』二六巻七号 日本文学協会
- 『国語と国文学』五五巻一号 東京大学国語国文学会
- 『国語国文』四八巻四号 京都大学文学部国語学国文学研究室
- 『古代文化』三一巻五号 古代学協会
- 『国語と国文学』五六巻六号 東京大学国語国文学会
- 『日本文学』二八巻七号 日本文学協会
- 『国文学』二五巻三号 学燈社
- 『国語国文薩摩路』二五号 鹿児島大学法文学部国文学研究室
- 『中古文学』二七号 中古文学会
- 『国文学』二六巻二号 学燈社
- 『香椎瀉』二七号 福岡女子大学国文学会
- 『今井源衛教授退官記念 文学論叢』 同刊行会
- 『平安文学研究』六八輯 平安文学研究会

・菅原道真の詩と律令語統稿
・古今集時代の詩と歌

一九八四年

・中右記部類卷二十八紙背漢詩をめぐる

・平安朝詩と律令語

・漢詩文と和歌―延喜七年大井河御幸詩について

一九八五年

・東大寺藏『願文集』所収詩断簡について

・寛仁二年藤原頼通大饗屏風詩について

・文徳朝以前と以後

・嶋田忠臣論断章

一九八六年

・「勸学会記」について

一九八七年

・安和二年粟田殿尚齒会詩考

・大江匡房「詩境記」私注

・平安朝詩文の「俗語」

・外来文学の受容―中国文学（古典）

・金剛寺本『注好撰』の出現

・菅原道真―学問と中傷―

一九八八年

・『延暦僧録』考

・王朝の漢詩

一九八九年

・叡山と平安朝文人との交渉

『静岡大学教育学部研究報告』三三三号
『国語と国文学』六〇巻五号 東京大学国語国文学会

『ビブリア』八二号 天理図書館

『古典の変容と新生』 明治書院

『論集 和歌とは何か』 笠間書院

『国語と国文学』六二巻一号 東京大学国語国文学会

『語文』四五輯 大阪大学国文学研究室

『文学』五三巻一二号 岩波書店

『語文研究』六〇号 九州大学国語国文学会

『国語と国文学』六三巻六号 東京大学国語国文学会

『国語と国文学』六四巻二号 東京大学国語国文学会

和漢比較文学叢書四『中古文学と漢文学Ⅱ』 汲古書院

『語文』四八輯 大阪大学国文学研究室

日本文学講座二『文学史の諸問題』 大修館書店

『文学』五五巻一〇号 岩波書店

『国文学解釈と鑑賞』五二巻一一号 至文堂

『国語と国文学』六五巻二号 東京大学国語国文学会

日本文学講座九『詩歌Ⅰ古典編』 大修館書店

『叡山の文化』 世界思想社

- ・佚存平安朝詩注
- ・文人たちの動静
- ・律令の中の中国口語

一九九〇年

- ・和歌真名序考

- ・〈無名仏教摘句抄〉について

- ・卿相を夢みた人―大江匡衡―

- ・金剛寺蔵業府注について

- ・『延暦僧録』『淡海居士伝』佚文考

一九九一年

- ・北野作文考

- ・教児伝―天台僧の書いた仏伝

- ・金剛寺蔵『円珍和尚伝』について

一九九二年

- ・真如、求法の渡海僧

- ・仲文章・注好選

一九九三年

- ・『入唐求法巡礼行記』の円仁は何を見、何を思ったか

- ・金剛寺蔵〈佚名諸菩薩感応抄〉

- ・『三国祖師影』の讚について

- ・円珍をめぐる文人たち

- ・文は、願文・表・博士の申文―『枕草子』と漢文学―

- ・菅原道真と白居易―詩の注記と『菅家文章』の編纂―

- ・慶滋保胤

『語文研究』六六・六七号 九州大学国語国文学会

『国文学』三四卷一〇号 学燈社

『続日本紀研究』二六四号 続日本紀研究会

『和歌史の構想』 和泉書院

『仏教文学』一四号 仏教文学会

『国文学解釈と鑑賞』五五卷一〇号 至文堂

『和漢比較文学』五号 和漢比較文学会

『日本歴史』五一〇号 日本歴史学会

『語文』五六輯 大阪大学国文学研究室

『叡山の和歌と説話』 世界思想社

『日本歴史』五一九号 日本歴史学会

『国文学』三七卷七号 学燈社

『説話の講座四』『説話集の世界I―古代―』 勉誠社

『国文学』三七卷一二号 学燈社

『国文学』三八卷一、二号 学燈社

『説話文学研究』二八号 説話文学会

『文藝論叢』四一号 大谷大学文藝学会

『叡山をめぐる人びと』 世界思想社

和漢比較文学叢書二二『源氏物語と漢文学』 汲古書院

白居易研究講座三『日本における受容(韻文編)』 勉誠社

岩波講座『日本文学と仏教一人間』 岩波書店

・諷誦文考

一九九四年

・創り出された平安朝詩人

・金剛寺蔵〈佚名諸菩薩感応抄〉考

— 所引の『日本靈異記』と『観音三昧経』について —

・金剛寺蔵『和漢朗詠集』（零冊）をめぐって

一九九五年

・三善清行『善家秘記』の新出佚文

・入唐僧の将来したもの—讀と碑文

・漢詩・漢文を作る

一九九六年

・『統日本紀』における中国口語

・「三教指帰」論—「智慧」と「弁才」と

・花鳥集

・勸学会の和歌・漢詩

一九九七年

・杏雨書屋蔵『春秋経伝集解』紙背表白等

一九九八年

・空海の周辺—勅撰詩集作者との交渉—

一九九九年

・中国へ伝えられた日本人の著作

— 淡海三船の「大乘起信論注」 —

・日唐間における經典の往還—『千手儀軌』の流伝—

・平安朝の楽府と菅原道真の〈新楽府〉

・淡海三船の「南山の智上人に贈る」詩について

『講座平安文学論究』九 風間書房

『国語国文』六三卷七号 京都大学文学部国語学国文学研究室

『国語と国文学』七一卷八号 東京大学国語国文学会

『語文研究』七八号 九州大学国語国文学会

『日本古代の祭祀と仏教』 吉川弘文館

『論集平安文学』二 勉誠社

岩波講座『日本文学史—文学の誕生より八世紀まで』 岩波書店

『統日本紀研究』三〇〇号 統日本紀研究会

『国文学』四—卷八号 学燈社

『語文』六六輯 大阪大学国語国文学会

『国文学解釈と鑑賞』六一卷—二号 至文堂

『日本文学史論』 世界思想社

『仏教文学とその周辺』 和泉書院

『日本歴史』六一〇号 日本歴史学会

『アジア遊学』四号 勉誠出版

『国語国文』六八卷六号 京都大学文学部国語学国文学研究室

『統日本紀研究』三二—号 統日本紀研究会

二〇〇〇年

・『日本詩紀』解説

・金剛寺蔵『文集抄』

二〇〇一年

・延久三年「勸学会之記」をめぐって

— 文事としての勸学会 —

・勅撰詩集作者との交流

・『性霊集』— 秀逸の漢詩文集

・延暦の遣唐使に関する偽作詩をめぐって

・本朝文粹

・本朝続文粹

・古筆資料のなかの平安朝詩文

・『基俊集』の贈答詩歌について

二〇〇二年

・平安朝人は『後漢書』をいかに読んだか

・『日本感霊録』の佚文断片

— 撰者のこと、伝流のこと —

・漢詩文家としての道真

・『菅家文章』散文篇の基礎的考察

・尚歯会の系譜— 漢詩から和歌へ —

二〇〇三年

・菅原道真の願文

・嘉保の和歌尚歯会

・文人たちの交友— 藤原行成を軸として —

二〇〇四年

『日本詩紀』 吉川弘文館

『白居易研究年報』創刊号 勉誠出版

『文藝論叢』五六号 大谷大学文藝学会

『国文学解釈と鑑賞』六六卷五号 至文堂

『国文学解釈と鑑賞』六六卷五号 至文堂

『奈良・平安朝の日中文化交流』 農文協

『国史大系書目解題』下巻 吉川弘文館

『国史大系書目解題』下巻 吉川弘文館

『王朝文学の本質と変容 韻文編』 和泉書院

『語文』七七輯 大阪大学国語国文学会

『文学』三卷一号 岩波書店

『南都仏教』八一号 南都仏教研究会

『国文学解釈と鑑賞』六七卷四号 至文堂

『日本歴史』六五二号 日本歴史学会

『和歌を歴史から読む』 笠間書院

『菅原道真論集』 勉誠出版

『文学』四巻五号 岩波書店

『文藝論叢』六一号 大谷大学文藝学会

・賦光源氏物語詩序について
『語文』八〇・八一輯 大阪大学国語国文学会
・日本古代漢詩集成のこれまでとこれから
―付『日本詩紀拾遺』補正―
『日本古典文学史の課題と方法』 和泉書院

・大江匡房の「詩境記」
―十一世紀日本人所写的中国詩略史―
『台大日本語文研究』六期 台湾大学日本語文学系

・『経国集』の作者序論
『続日本紀の諸相』 塙書房

・『三宝感応要略録』金剛寺本をめぐる
『説話論集』十四集 清文堂

二〇〇五年
・勅撰三集の詩と歴史学
『日本歴史』六八一号 日本歴史学会

・平安朝漢文学における神仙思想の受容
『アジア遊学』七三号 勉誠出版

・『朝野群載』文筆部考―文体論の視点から―
『詞林』三七号 大阪大学古代中世文学研究会

IV 解題
・在九州国文資料影印叢書 新撰万葉集・千載佳句(共著)
在九州国文資料影印叢書刊行会 一九七九年

・在九州国文資料影印叢書 古今和歌集三条西実隆筆本
在九州国文資料影印叢書刊行会 一九七九年

・天理図書館善本叢書 平安詩文残篇
天理大学出版部 一九八四年

・国立歴史民俗博物館蔵貴重典籍叢書 漢詩文(共著)
臨川書店 二〇〇一年

・冷泉家時雨亭叢書 和漢朗詠集・和漢兼作集・尚歯会和歌
朝日新聞社 二〇〇五年

V 辞典項目執筆
・日本古典文学大辞典 岩波書店 一九八三年(～八五年)

・日本大百科全書 小学館 一九八四年(～八九年)

・大百科事典 平凡社 一九八四年(～八五年)

・平安時代史事典 角川書店 一九九四年

・朝日日本歴史人物事典 朝日新聞社 一九九四年

・新版日本史辞典 角川書店 一九九六年

・ 日本古典文学大事典 明治書院 一九九八年
・ 日本古典籍書誌学辞典 岩波書店 一九九九年
・ 日本古代史大辞典 大和書房 二〇〇六年

VI その他

一九七五年

・ 勅撰三集とその基盤、僧団の文学、文章経国思想、和漢朗詠集 『日本古典文学史の基礎知識』 有斐閣

一九七六年

・ 僧団の文学

『中古の文学』 有斐閣

一九七七年

・ (編年体日本古典文学史) 延暦十年〜承和七年

『国文学』二二卷三号 学燈社

・ (読む) 忠臣・道真・長谷雄

『日本文学』二六卷一〇号 日本文学協会

一九八一年

・ 『新撰朗詠集』些事

『日本古典文学影印叢刊月報』一六 貴重本刊行会

・ 重陽

『年中行事の文学』 弘文堂

一九八三年

・ 『江談抄注解』補正と江談抄研究会のこと

『国書逸文研究』一二号 国書逸文研究会

一九八四年

・ 最澄、空海

『国文学』二九卷一二号 学燈社

一九八五年

・ 『日本詩紀』拾遺(一)

『大阪大学教養部研究集録(人文・社会科学)』三三三号

・ 『官曹事類』成立年時についての疑問

『続日本紀研究』二二七号 続日本紀研究会

・ 『日本詩紀』拾遺(二)

『大阪大学教養部研究集録(人文・社会科学)』三四号

一九八六年

・ 菅原道真

『国文学』三一巻一〇号 学燈社

・ 『日本詩紀』拾遺(三)

『大阪大学教養部研究集録(人文・社会科学)』三五号

一九八七年

・陸奥話記、本朝文粹

・陽明文庫蔵「猪隈関白記紙背詩懷紙」(翻刻 共著)

一九八八年

・漢文の受容

・『日本詩紀』拾遺(四)

・『統本朝往生伝』

・中古漢文学

・別本和漢兼作集(翻刻・解題)

一九八九年

・『日本詩紀』拾遺(五)

・『江談抄』所引の『類聚国史』逸文

・史料所載平安朝詩題索引

一九九〇年

・『日本詩紀』拾遺(六)

・勅撰漢詩集

・平安朝の詩文―男性の文学―

一九九一年

・『日本詩紀』拾遺(七)

一九九二年

・坂上高明―『統浦嶋子伝記』の施注者―

・『日本詩紀』拾遺(八)

・史書への配慮―『経国集(巻十) 詩注』に関して―

・『本朝文粹』本文校訂三条

・菅原是善伝断章

『国文学』三二卷四号 学燈社

和漢比較文学叢書五『中世文学と漢文学Ⅰ』 汲古書院

日本の古代―四『ことばと文学』 中央公論社

『大阪大学教養部研究集録(人文・社会科学)』三六号

『国文学解釈と鑑賞』五三卷三号 至文堂

『国文学』三三卷九号 学燈社

『新編国歌大観』六卷 角川書店

『大阪大学教養部研究集録(人文・社会科学)』三十七号

『統日本紀研究』二六一号 統日本紀研究会

『源氏物語とその周縁』 和泉書院

『大阪大学教養部研究集録(人文・社会科学)』三八号

『別冊国文学』四〇号 学燈社

『性のポリフォニー』 世界思想社

『大阪大学教養部研究集録(人文・社会科学)』三九号

『ぐんしょ』再刊一五号 統群書類従完成会

『大阪大学教養部研究集録(人文・社会科学)』四〇号

『日本歴史』五二六号 日本歴史学会

『むらさき』二九輯 紫式部学会

『日本歴史』五三五号 日本歴史学会

一九九三年

・『日本詩紀』拾遺（九）

『大阪大学教養部研究集録（人文・社会科学）』四一号

一九九四年

・身を立てて名を揚ぐるに学より向きはなし

『世界思想』二一号 世界思想社

・「智証大師画賛」の作者高美倫

『日本歴史』五五八号 日本歴史学会

一九九九年

・和漢朗詠集

岩波ジュニア新書『日本古典のすすめ』 岩波書店

二〇〇〇年

・本のはなし 第三十一回 知識の宝庫―『二中歴』

『新日本古典文学大系月報』九五 岩波書店

二〇〇二年

・本朝文粹抄（一）清慎公の先帝の奉為に諷誦を修する文

『アジア遊学』四一号 勉誠出版

・本朝文粹抄（二）右近中将宣方の為の四十九日の願文

『アジア遊学』四二号 勉誠出版

・本朝文粹抄（三）遊女を見る詩の序

『アジア遊学』四三号 勉誠出版

・本朝文粹抄（四）宇多院の河原院の左大臣の為に没後諷誦を修する文

『アジア遊学』四四号 勉誠出版

・本朝文粹抄（五）河原院の賦

『アジア遊学』四六号 勉誠出版

二〇〇三年

・本朝文粹抄（六）河原院に山晴れて秋望多しを賦す詩序

『アジア遊学』四七号 勉誠出版

・本朝文粹抄（七）学生藤原有章の讚

『アジア遊学』四九号 勉誠出版

・本朝文粹抄（八）右大臣に奉る書

『アジア遊学』五〇号 勉誠出版

・本朝文粹抄（九）老閑行

『アジア遊学』五一号 勉誠出版

・本朝文粹抄（一〇）弁官左右衛門権佐大学頭等を申す奏状

『アジア遊学』五二号 勉誠出版

・本朝文粹抄（一一）出雲権守藤原朝臣の為の帰京を請ふ奏状

『アジア遊学』五三号 勉誠出版

・本朝文粹抄（一二）菅原道真の右大臣を辞する表

『アジア遊学』五五号 勉誠出版

・金剛寺蔵『文集抄』影印・翻刻―倣陶潜体十六首

『白居易研究年報』四号 勉誠出版

・渤海關連詩を読む（四）王孝廉「奉勅陪内宴詩」

『アジア遊学』五七号 勉誠出版

二〇〇四年

- ・『三教指帰注集』所引の『類聚国史』佚文をめぐって
- ・金剛寺蔵『文集抄』影印・翻刻―賦二首
- ・菅原道真の「絶句十首、諸進士の及第を賀す」
- ・金剛寺一切経奥書年表・奥書索引・覚書

『続日本紀研究』三五―一〇号 続日本紀研究会
 『白居易研究年報』五号 勉誠出版
 『むらさき』四一輯 紫式部学会
 『金剛寺一切経の基礎的研究と新出仏典の研究 科学研究費研究成果報告書』（代表者 落合俊典 国際仏教学大学院大学）

VII 書評・紹介・学界時評

- ・今井源衛著『花山院の生涯』
- ・今井優著『古今風の起源と本質』
- ・中村璋八・大塚雅司著『都氏文集全釈』
- ・平成二年 国語国文学界の展望

中古（韻文）漢詩文・日中比較文学

- ・小島憲之監修『田氏家集注』
- ・山崎誠著『中世学問史の基底と展開』
- ・大曾根章介著『王朝漢文学論攷―「本朝文粹」の研究』
- ・川口久雄・本朝麗藻を読む会『本朝麗藻簡注』
- ・桃裕行著作集『上代学制の研究（修訂版）』

『上代学制論攷』

- ・本間洋一『本朝無題詩全注釈』三 『同志社女子大学日本語日本文学』七号 同志社女子大学日本語日本文学会 一九九五年
- ・平成十年 国語国文学界の展望

中古 漢詩文・和漢比較文学

- ・土井洋一・中尾真樹編『本朝文粹の研究』第一卷〈校本・漢字索引編〉『国文学解釈と鑑賞』六四卷一〇号 至文堂 一九九九年
- ・藤原克己著『菅原道真と平安朝漢文学』
- ・佐藤道生著『平安後期日本漢文学の研究』を読んで

『文学・語学』一六四号 全国大学国語国文学会 一九九九年
 『国語と国文学』八〇巻八号 東京大学国語国文学会 二〇〇三年
 『和漢比較文学』三三三号 和漢比較文学会 二〇〇四年

『語文研究』二八号 九州大学国語国文学会 一九七〇年
 『語文』四九号 大阪大学国文学研究室 一九八七年
 『和漢比較文学』五号 和漢比較文学会 一九八九年

『文学・語学』一三三三号 全国大学国語国文学会 一九九二年
 『和漢比較文学』一四号 和漢比較文学会 一九九五年
 『国語と国文学』七二巻二号 東京大学国語国文学会 一九九五年
 『北陸古典研究』一〇号 北陸古典研究会 一九九五年

『日本歴史』五六九号 日本歴史学会 一九九五年